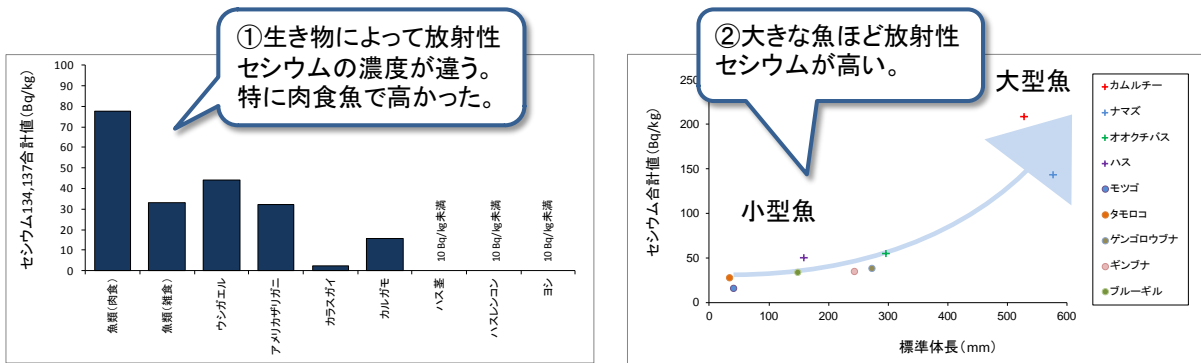


第3回いきものにぎわい市民活動大賞
「富士フィルム・グリーンファンド活動奨励賞」受賞

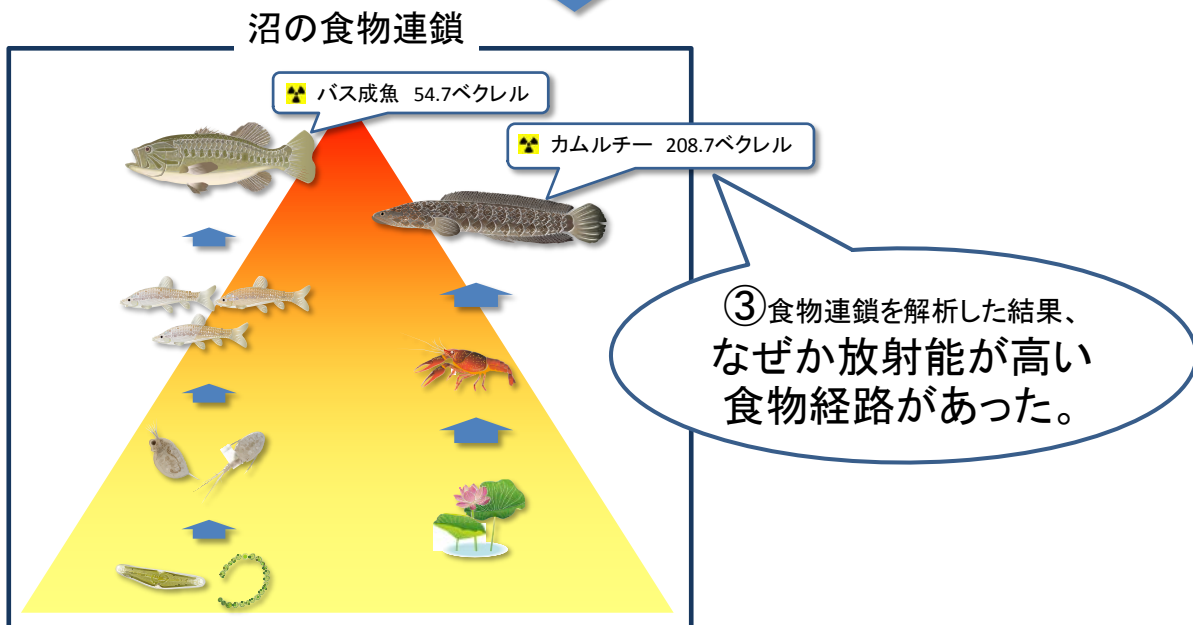
平成24年度に富士フィルム・グリーンファンドから助成金をいただいて実施した「ラムサール条約登録湿地・伊豆沼・内沼の食物網における放射性物質の濃縮の評価」が、第3回いきものにぎわい市民活動大賞「富士フィルム・グリーンファンド活動奨励賞」を受賞しました。9団体（個人）に贈られたもののひとつに選ばれました。内容は下記のとおりです。

「ラムサール条約登録湿地・伊豆沼・内沼の食物網における放射性物質の濃縮の評価」

東電福島原発の事故によって放出された放射性物質が各地で問題になっています。このプロジェクトでは、宮城県北部にある伊豆沼・内沼で、放射性物質の蓄積状況を新たに食物連鎖の観点から評価してみました。その結果、沼における放射性セシウムの蓄積状況に、特徴的な傾向があることが分かりました。



放射性セシウムが蓄積する原因を食物網から分析してみた。



今回のプロジェクトにより、①沼の生物の放射性物質濃度は種によって大きく異なり、②大型の

肉食魚ほど高い値を示すことが分かりました。③肉食魚に至る食物連鎖を分析した結果、伊豆沼・内沼では2系統の食物連鎖があり、そのうちの1方の経路の肉食魚（カムルチー）は放射性セシウムが蓄積しやすい経路であることが明らかになりました。

私たちは放射性物質の問題にこれから何年も付き合っていかなければなりません。今回の結果は、どのような点に着目して湖沼の放射性物質と付き合っていくべきか、新たな観点を与えるものになりました。